

# 喜界島をモデルとした地域主体型のサンゴ礁保全プラットフォームの構築

活動地域  鹿児島県大島郡喜界町

ひろげる助成

3年目

実践

プログラム年間参加者数 **1,302人**

サンゴ礁保全の地域基盤体制組織 **3組織**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **95%**



KIKAIブルー サンゴ礁調査

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

活動のはじめはサンゴ礁が喜界島の暮らしに関わることを伝えるのに苦労をしたが、徐々に地域の方々が喜界島の魅力としてサンゴ礁を受け入れ、活動を通して理解が広まった。

### ■ 工夫した点

サンゴ礁調査保全活動の成果が図鑑やパンフレット、冊子となり、多くの人に手にとってもらえるようになった。サンゴ礁の島がキーワードとして喜界島に広まりつつある。

## 課題

サンゴ礁は沿岸生態系の生物多様性を維持する重要なプラットフォームであるが、地域住民の自然環境に対する関心・意識の向上を目的とした取組みは限られている。

## 目標

地域住民の自然環境に対する意識向上と保全活動を促し、それを将来にわたって持続的に支え、適切な環境教育を提供できるようなプラットフォームを地域に定着させる。

## 活動内容と成果

3年間の活動を通じて、喜界島ではサンゴ礁が地域の様々な主体を結びキーワードとなること認知されてきた。学校教育ではサンゴ学習単元の開発や喜界島教育協議会の設立をはじめ、サンゴ礁を通じた学習活動が継続されている。そして、貴重な北限のアオサンゴ群生を保全・活用するために漁業・マリンスポーツ事業者・行政・研究所が参画する「喜界島アオサンゴ保全協議会」が設立された。さらにサンゴ礁をキーワードに島の様々な主体が参加し島の未来を考える「サンゴ礁文化連絡会議(仮)」の設立を目指した動きが始まっている。



サンゴカフェで「アオサンゴカフェ」



サンゴの石垣修復体験～どんなサンゴの化石かな

## 全助成期間の活動を振り返って

本事業から始まったリーフチェック及び海洋環境モニタリング活動、学校教育と連携したサンゴ養殖活動、喜界島ジオ・マリンエコツアー活動の三つの活動が、協議会の設立や地域活動団体の立ち上がりなど、それぞれ地域住民の主体的な取組みにつながっていく兆しがみえている。喜界島の地域レベルでの自然環境に対する関心の向上とサンゴ礁保全活動の基盤づくりに大きな役割を果たしてきたと感じる。

〒891-6151  
鹿児島県大島郡喜界町大字塩道1508  
電話：0997-66-0200  
E-mail：mail@kikaireefs.org  
HP：http://kikaireefs.org



## 今後の展望

喜界島で培ったプラットフォームでの活動をもとに、奄美群島間を結ぶ一つのキーワードとしてサンゴ礁保全を通して、共通の地域環境課題を見出し、同じベクトルで環境保全に取り組むコンソーシアムを構築することで活動を発展・継続させていく。本活動で構築した奄美群島の個人・事業者・自治体の関係性を拡大・強化することで、奄美群島が地球環境問題に対して高い関心を持って活動する国際的なモデル地域となることを目指す。